



Contents

教育長からのメッセージ	1
コンプライアンスの推進について	2
平成24年度教育委員会事務局組織の改正について	3
「心にひびく」とっておきのエピソード」作品集の活用について	4
セクシュアルハラスメント/パワーハラスメントの防止に向けて	4
あわ(OUR)教育発表会	5
教職員相談事業のご案内	6
学校における博物館の活用について	7
教育次長室より	8
埋蔵文化財総合センターからのお知らせ	8

教育長からのメッセージ

このたび、教育長を拝命いたしましてその重責に身が引き締まる思いをしているところですが、その職責を果たすため誠心誠意努めて参りたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

先生方には日頃から子ども達のために寝食を忘れ、教育に邁進されておりますことに心より感謝申し上げます。

こうして多くの教職員の皆さんが懸命に業務に取り組んでいるさなかに、誠に残念な事案が発生いたしました。すでに報道等でご承知のことと思いますが、4月6日未明に県内の小学校教諭が酒気帯び運転で検挙されました。大変残念で誠に遺憾です。このようなたった一人の不祥事が、全ての教職員に対する県民の皆様からの信頼を揺らがせることに繋がってしまいます。我々教職員は児童生徒、保護者はもちろんのこと、県民の方々から強い信頼を受けてこそその職責が果たせるのだと考えます。今後とも所属長を先頭に一人一人がコンプライアンス意識の向上に努めていただくよう強く願います。

また、生徒指導上でも誠に残念な事件が発生しました。去る5月上旬に高校生4名が逮捕監禁・殺人未遂容疑で逮捕されました。彼らの行為に対して人権、人命を尊ぶ教育を進めてきた教職員の一人として慚愧に堪えません。今後、こうした悪質な事件の再発防止のためには、普段から規範意識や道徳心を身につけさせるとともに、命の大切さを指導する必要があります。加えて、これまで以上に学校・家庭・補導センターや警察などの関係機関・地域社会のそれぞれが実効性のある連携を深めることが大切です。特に教職員には日常における子どもたちの様子を注意深く観察し、互いの情報交換を密にするなど、きめ細やかな対応が求められております。この事件についても他校のことと思わず自校のことと思って受け止めていただきたいと思います。私も県教育委員会としても、この事件を重く受け止めており、各学校ともより連携を深め、こうした問題行動の防止に努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

さて、昨年発生しました東日本大震災は東北地方に未曾有の被害をもたらし、我々は従来の安全教育の在り方を根本的に見直すことを余儀なくされました。昨年の3月11日午後2時46分、私は出張で福島県庁におり被災しました。震度6弱の揺れはすさまじく、死を覚悟しました。県庁近くの公園に避難したあとも大地が揺れて立ってられないほどでした。地震が少しおさまり、恐怖から解放されると、徳島でこのような事態が起こったらどうすればいいのだろうかとの思いが頭をよぎりました。今般、東日本大震災を教訓に「学校防災管理マニュアル」を改訂し、暫定版を各学校に送付したところです。本マニュアルを各学校の特性に即した「学校防災計画」を策定する際の指針にしていきたいと思います。同時にマニュアルにのみにとらわれるのではなく、自ら危険を回避できる判断能力をもつ子ども達を育成して欲しいと考えます。「釜石の奇跡」で知られる釜石市立釜石東中学校では放送設備が壊れ、先生の「逃げろ」という指示は生徒達には伝わりませんでした。しかし、生徒達は自分達で判断し、避難場所に指定されていた高台のグループホームに駆け込みました。隣接の鶴住居（うのすまい）小学校の児童達もこれまで釜石東中学校と取り組んできた合同避難訓練が功を奏し、中学生の後を追いか校内の全員が無事に避難しました。釜石市では普段から「想定を信じるな」「最善を尽くせ」「率先避難者たれ」の避難三原則を防災教育に取り入れていたとのこと。我々もこの「釜石の奇跡」をお手本にしたいものです。

最後になりましたが、教職員の皆さんが健康に留意されて充実した1年となりますよう御祈念申し上げ、私からのあいさついたします。どうぞよろしくお願いします。



徳島県教育委員会
教育長
佐野 義行

コンプライアンスの推進について

●平成24年度の推進目標

- (1)県と市町村教育委員会が連携し、すべての公立学校での推進が充実する取組を行います。
- (2)総合教育センターの年次別研修等を活用し、精選した内容のコンプライアンス研修を計画的に実施します。
- (3)コミュニケーションの活性化や情報が共有される風通しの良い職場環境づくりに取り組みます。
- (4)各所属における問題点に焦点を当て、自らの問題として重点的に取り組みます。
- (5)公益通報制度の趣旨の徹底と円滑な運用により、課題の早期発見と早期対応に努めます。

●行事計画

- (1)コンプライアンス推進週間（7月、12月）を実施します。

※**夏のコンプライアンス推進週間（7月1日～7月7日）**では、～コンプライアンス推進のための「セルフチェックフレーズ」～ を募集します。奮ってご応募ください。

○募集期間 平成24年7月2日(月)～7月20日(金)

○募集内容 オリジナル作品で、35字程度までとします。（セルフチェックをテーマとした従来の標語も可）

☆詳細は、各所属に配布しました「セルフチェックフレーズ募集要項」を御覧ください。

- (2)総合教育センターにおける基本研修・職務研修等でのコンプライアンス研修を実施します。

- (3)外部講師による研修会を実施します。

- (4)コンプライアンス推進員及び教職員へのアンケート調査を実施します。



●各所属での取組を充実させるために

- (1)『コンプライアンスハンドブック』（平成21年度配布）『ケース集』（平成22年度配布）『ケース集Ⅱ』（平成23年度配布）を有効に活用してください。※「徳島県教育委員会ホームページ」からダウンロードできます。

① ハンドブックは <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2010083000130/>

② ケース集は <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2010083000116/>

③ ケース集Ⅱは <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2011100400179/>

- (2)コンプライアンス推進週間において、研修や啓発活動を重点的に実施してください。

①「夏のコンプライアンス推進週間」7月1日(日)から7月7日(土)

②「冬のコンプライアンス推進週間」12月1日(土)から12月7日(金)



●公益通報制度のお知らせ

コンプライアンス推進室では、公益通報制度を担当しています。この通報制度は、教職員の不正行為等を早期に発見し、速やかに是正に繋げ、法令遵守等を推進するためのものです。

教育委員会事務局、教育機関及び県立学校の教職員について通報される方は、当コンプライアンス推進室まで、封書又はメールによりご連絡ください。『通報者の秘密を含め個人情報保護されます。』

▶通報窓口：徳島県教育委員会コンプライアンス推進室

▶通 報 先： 封書 〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

「徳島県教育委員会コンプライアンス推進室(公益通報)」宛 ※「親展」と記載してください。

メール compliancesuishinshitsu@mt.tokushima-ec.ed.jp

あるいは、「徳島県教育委員会ホームページ」→「教職員の不正行為等通報窓口」からも入力できます。（「外部相談員」の通報窓口も設けています。）

なお、市町村立小・中・高等学校の教職員についての通報は、該当市町村教育委員会までご連絡ください。

交通三悪の根絶を！

飲酒運転

速度超過

無免許運転

は ダメ！

「不注意」「思わず」「急いでいた」などの言い訳は通用しません。常に安全運転を心がけ、交通三悪を根絶するとともに、交通事故ゼロをあわせて達成しましょう。県民の信頼を失う行為は許さないと強く決意しましょう！

平成24年度教育委員会事務局組織の改正について

東日本大震災の発生は、近い将来発生が危惧される東海・東南海・南海の三連動地震に対する備えの重要性を認識させるとともに、より実践的・具体的な「安全教育」の充実・強化が最重要課題として求められています。

また、急速に少子化が進み、社会経済情勢が大きく変化する中、子どもたちが明るい未来を切り開いていけるような「新たな教育振興の戦略づくり」が不可欠となっています。

こうした中、教育委員会においては、本県教育を取り巻く諸課題に、スピード感をもって取り組むため、次のとおり事務局組織の改正を行いました。

事務局組織の主な改正点

💡「安全教育」の充実・強化による「安全・安心な学校づくり」

地震・津波などの自然災害をはじめ、事件や事故など、児童生徒を取り巻く様々な事象に際して、自らを守る能力を育成し、自らも支援者として社会参画する意識を高める「安全教育」の一層の充実・強化を図るため、「体育健康課」を改組し、「体育学校安全課」を新設しました。

💡「新たな教育振興の戦略づくり」 ～本県教育の目指すべき将来像～

少子化に伴う人口減少が進む中、教育を取り巻く環境は劇的に変化しており、本県教育の進むべき方向性や、地域に根ざした学校教育のあり方など、「新たな教育振興の戦略づくり」が不可欠となっています。

次期「教育振興計画」の策定とともに、本県教育の目指すべき将来像の策定を進めるため、「教育改革課」を改組し、「教育戦略課」を新設しました。

💡人材、知識の集積する「知の拠点」としての「文化の森」の機能強化

文化の森の各館を新たに人材、知識の集積する「知の拠点」として位置づけ、県民の皆様からより親しまれる「文化の森」としての機能強化を図るため、各館を束ねる統括組織として「文化の森統括本部」を設置しました。

💡競技力向上に向けた「新たなサポート体制」の整備

将来のトップアスリートやスポーツ指導者の育成をサポートするため、鳴門渦潮高校に体育学校安全課の「分室」を設置しました。

平成24年度事務局組織(☆…新設・改組)

教育長	副教育長
—	教育次長(高校再編・特別支援担当)
—	教育次長(学力体力向上・生徒指導担当)
—	局付(埋蔵文化財センター派遣)
—	教育総務課
—	コンプライアンス推進室
—	施設整備課
—	教育戦略課☆
—	教職員課
—	福利厚生課
—	学校政策課
—	学力向上推進室
—	学校情報化推進室
—	特別支援教育課
—	人権教育課
—	体育学校安全課☆
—	生涯学習政策課
—	教育文化政策課
—	文化の森統括本部☆

長期優良住宅〈OMソーラー・徳島杉〉展示場公開中! 広告



太陽の力で年中快適!エコ生活。

木造ドミノ徳島展示場は、OMソーラー・長期優良住宅・徳島杉の家が組み合わさったエコの家。

見学はもちろん、実際に宿泊して体感もOK!

真剣に家づくりをお考えの方は、ぜひご体験ください。



いつでもご見学、宿泊体験可! 来場時お電話ください



心と心で満足とよろこびをつくる
(株)セイコーハウジング

徳島市北矢三町3丁目1-79
Tel.088-631-8236
<http://www.seikohousing.co.jp/>

「心にひびく とっておきのエピソード」

～プラス 心一つに乗り越えよう 東日本大震災～

作品集の活用について

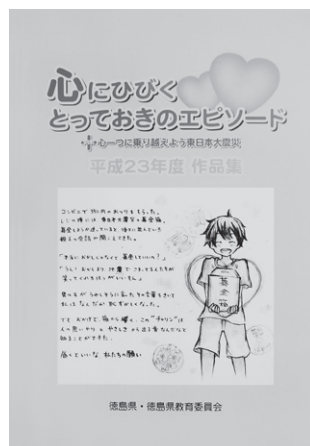
「心にひびく とっておきのエピソード」事業は、県民の皆さんが体験した人権尊重の思いあふれる出来事をとおりて、人権の尊さを多くの人々に感じていただくことを目的として、平成21年度から23年度まで実施した事業です。

特に、23年度は、「『心にひびく とっておきのエピソード』プラス 心一つに乗り越えよう 東日本大震災」として、「～広げよう、つなげよう、人権尊重の思い～ 思いやりの心を言葉にのせて、“東日本の人々とつながろう”」をテーマに加え、東日本大震災をとおりて感じたことや「人の絆」の大切さなどを表現した作品も募集しました。23年度は、幼児から大人まで合計3,208点の応募がありました。

応募作品には、日常生活における人との出会いや出来事の中で、人権問題の解決に向けての思いや人権尊重の精神が態度や行動に現れた、とっておきの心温まるエピソードがあふれていました。その中から、知事賞・教育長賞・徳島新聞社賞・入選・佳作の各受賞作品と、東日本大震災に関係する作品を掲載し、作品集を制作しました。また、受賞作品は、啓発パネルにもしています。

作品をとおりて、一人ひとりがかけがえのない大切な存在として、認め合い、支え合い、つながり合って、共に生きていくことと、人権問題を解決していくことの大切さを感じていただければ幸いです。

本作品集は、各学校（園）及び関係機関にお送りしておりますので、人権啓発パネル展示と合わせて、学校・地域等での学習資料としてご活用ください。



【平成23年度 作品集】

平成23年12月26日、徳島県の支援先である、宮城県の子川第二小学校へ贈呈した作品パネルを、学校や役場に展示し、児童・教職員をはじめ、子川町民の方々に見ていただきました。



【作品パネルの贈呈】



【子川第二小学校でのパネル展示】



徳島県・徳島県教育委員会（連絡先：徳島県教育委員会人権教育課 088-621-3155）

セクシュアルハラスメント・パワーハラスメントの防止に向けて

徳島県教育委員会では、セクシュアルハラスメント及びパワーハラスメントの防止に向けて、次のとおり相談窓口を設置しています。窓口で相談に応じる相談員12名のうち、9名が女性です。

相談員は、相談される方の氏名や相談内容に関してプライバシーを厳守しますので、セクシュアルハラスメント等の被害を受けたと感じたときは、被害を深刻にしないためにも、まずは電話やメールにより相談してください。

【相談窓口・相談員配置先】

- 市町村立学校の教職員 市町村教育委員会にお問い合わせください。

- 県教育委員会事務局、教育機関及び県立学校の教職員

コンプライアンス推進室 TEL 088-621-2771

教職員課 TEL 088-621-3123

学校政策課 TEL 088-621-3197

教育総務課

福利厚生課

体育学校安全課

TEL 088-621-3115

TEL 088-621-3178

TEL 088-621-3165

【メールによる相談窓口】

電話等により直接相談することが困難な場合は、次のメールアドレスにより、セクシュアルハラスメント等の相談、苦情及び通報を受け付けていますので、活用してください。

- メールアドレス: sekuharasoudan@mt.tokushima-ec.ed.jp

相談窓口
のご案内

ひとりで悩まず、
まず相談を！



あわ(OUR)教育発表会

～広げよう徳島の教育

育てよう未来にはばたく子どもたち～

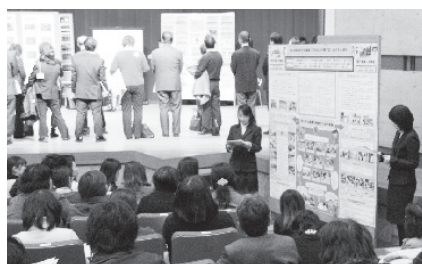
県教育委員会では、「未来にはばたく力を育む教育の実現」をテーマに、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する学校・園がポスターセッションを行い、それぞれの取組やその成果を広く普及し、県内における教育に関するネットワークを築くとともに、今後の各幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教育活動について一層の改善・充実を図ることを目的に、平成23年度から、あわ(OUR)教育発表会を開催しています。

平成24年度 あわ(OUR) 教育発表会

〔日 時〕平成24年12月24日〔月〕 午前9時40分～午後4時30分
〔場 所〕徳島県立総合教育センター
〔内 容〕国・県の研究指定校等によるポスターセッション
直山木綿子先生(文部科学省教科調査官)による講演
〔備 考〕日程等については、「第1次案内」をご覧ください。



平成23年度の様子



◎参加者の声(アンケート用紙から一部抜粋)



ポスターを見ながら取組が聞けて非常に分かりやすかった。発表が終わった後、個人的に質問ができ、身近で発表者と話ができてよかった。

限られた時間で多くの発表を聞くことができるので有意義だと思った。



学校種の垣根を越えて取組が共有できることはとても斬新に感じた。



【広告】

便利な昭和町でこの価格!
しかも昭和小学校のすぐそば!



お急ぎ下さい!
**限定
1区画!**

価格 **1,916万円**

【物件概要】
●所在地 徳島市昭和町6丁目 ●交通 昭和町7丁目バス停 徒歩2分 ●区画数 1区画 ●
地目 宅地 ●用途地域 第一種住居地域 ●都市計画 市街化区域 ●建ぺい率 60% ●容
積率 160% ●土地面積 214.65㎡ (64.93坪) ●販売価格 1,916万円 ●取引形態 仲
介 ●建築条件なし ●広告有効期限 平成24年4月末日

物件情報はこちら

きょうとう不動産

検索

新築物件

土地

戸建物件

中古物件

マンション

収益物件

売物件も募集中!!



株式
会社

旭東不動産

徳島市栄町6丁目16-1
tel 088-625-5020 fax 088-625-1038
営業時間 9:00～18:00
e-mail info@kyokuto-real.jp

徳島県知事免許(11)第398号 (社)徳島県宅建物取引業協会会員 (社)全国宅建物取引業保証協会会員

教職員相談事業のご案内 (メンタルヘルス・カウンセリング)

この事業は、皆様の「心の健康管理」を支援する事業です。

利用 方法

電話または窓口で、「教職員相談事業」での利用であることをお伝えください。

無料相談は年度内5回までです。なお、弁護士業務に係る場合、投薬治療および継続の心理療法を受ける場合は、費用が必要になります。(念のため、医療機関で相談される場合は、共済組合員証を御持参ください。)相談方法、時間制限は必ず守ってください。治療ルートにのるまでを「相談」とします。プライバシーは絶対に守ります。所属に知られることはありません。

▼弁護士

相談員名	相談場所	相談日時等		相談方法	申込方法
松尾 泰三	ひまわり法律事務所 徳島市東新町2丁目9番地1 こぼんやビル2F 電話 088-655-0007	月～金	9時～18時	面接 電話・文書	事前予約必要

▼精神科医師

相談員名	相談場所	相談日時等		相談方法	申込方法
元木 啓二	新町診療所 徳島市中徳島町2丁目100 電話 088-625-7556	月火木金	9時30分～18時30分 (13時～14時除く)	面接	事前予約必要
		土	9時30分～13時		
石元 康仁	徳島県精神保健福祉センター 徳島市新蔵町3-80 電話 088-625-0610	第2・4 水曜日	13時～17時	面接	事前予約必要
白石 公	四国中央病院 四国中央市川之江町2233 電話 0896-58-3515	月～金	9時～17時	面接	事前予約必要 健康管理係まで
土井 章良	川村医院 名西郡石井町浦庄上浦154-4 電話 088-674-0120	月火水金土	9時～13時 15時～18時	面接・電話	事前予約必要
鬼原 治良	あいざと山川クリニック 吉野川市山川町前川200-2 電話 0883-42-8811	月水金 土(第1・3・5)	9時30分～12時30分 14時30分～17時(土除く) (受付は9時～12時、14時～16時)	面接	事前予約必要
福川 久継	ますみクリニック 徳島市大原町東千代ガ丸2-9 電話 088-663-2202	月火水金土	9時～12時 14時～18時	面接	事前予約必要
		木	9時～12時		
宮内和瑞子	宮内クリニック 徳島市名東町2丁目659 電話 088-633-5535	月水金	9時30分～17時	面接	随時受付順
		土	9時30分～12時 (受付は8時30分～)		
枝川 浩二	枝川クリニック 徳島市大和町2丁目3-51 電話 088-653-1131	月火木金	9時～13時 14時30分～18時	面接・電話	事前予約可能
		土	9時～13時		
後藤 宏樹	けんなんメンタルクリニック 阿南市日開野町筒路15-1 阿南開発ビル5F 電話 0884-23-6522	月火水金土	9時30分～12時30分 14時～18時	面接・電話	事前予約可能

▼臨床心理士・カウンセラー

※継続して心理療法を受ける場合は自己負担となります。

相談員職氏名	相談場所	相談日時等		相談方法	申込方法
臨床心理士 川瀬公美子	メンタルサポートオフィス ーひといきー 徳島市東新町2-20-204 電話 088-652-2292	電話予約で相談のうえ決定します。 予約時、すぐに対応できないときは留守番電話で対応受付します。		面接・電話	事前予約必要
産業カウンセラー 川上 晃代	Mental Health & Human Support With You 徳島市蔵本町2-30-1パティオ蔵本3F 電話・FAX 088-633-5689	月火	18時～21時	面接	事前予約必要
		土日	13時～19時		
		メールアドレスwith-you-2008@sings.jpの 件名に「教職員相談事業」と入力し予約可。 予約電話は月～金 10時～17時			

※国民の祝日・休日・年末年始は除きます。

対象者は？

公立学校、県教育委員会事務局、県立教育機関に勤務する県費負担教職員本人(臨時を含む)です。休職中の教職員も利用できます。

サービスの 取扱い？

勤務時間内の面談は、**年休**により相談を受けて下さい。

徳島県教育委員会福利厚生課

学校における博物館の活用について

徳島県立博物館では、博物館のもつ資源（もの・情報・人）を遠足、資料貸出、出前授業等を通じて学校教育の場で有効に活用していただきたいと思います。（学校教育でのご利用は、無料です。）

1 遠足での利用

遠足では、常設展や企画展をご利用いただけます。徳島県の特徴ある歴史・文化・自然について楽しく学ぶことができるように、様々な角度から、多くの資料を展示しています。ご希望に応じて小中学生を対象とした展示解説を行っています。



2 博物館での授業

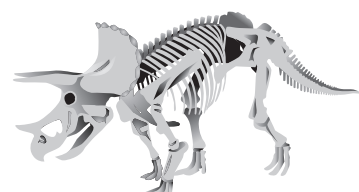
理科の動植物や社会科の昔の暮らしなどの授業、「総合的な学習の時間」での活動として、クラスやグループ単位で実物体験をしたり、わからないことを調べたりするときは、博物館の展示や資料をご活用ください。

3 出前授業

学習内容をよりくわしく子どもたちに教えたいとお考えのときに、学芸員が授業を支援します。

出前授業の例

- ・古代の人々の暮らし
- ・昔の暮らしと道具
- ・戦争と平和
- ・近所の古墳見学
- ・水生昆虫の調査
- ・昆虫の体のつくりと育ち
- ・川、用水路の魚かんさつ
- ・磯の生きものかんさつ
- ・浜辺の植物
- ・押し花カルタづくり
- ・大地のつくりと地層 など



4 博物館資料の貸し出し

「学校へ貸し出しできる資料」の整備を進めています。学校での授業、クラブ活動、文化祭などで実物資料が必要なときにご活用ください（学校貸出用資料解説シートは、博物館ホームページ（<http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp/fukyu/hakugaku/list2.htm>）からダウンロードできます。）学校貸出用資料一覧表にのっている資料以外でも、貸出しが可能な場合がありますので、遠慮なく博物館にご相談ください。

問い合わせ先●徳島県立博物館 Tel088-668-3636

疲れた眼を癒して、ココロも体もリフレッシュ!! 広告

眼精疲労でお困りではありませんか？

- ・長時間パソコンを使用している
- ・一日中コンタクトレンズを装着
- ・老眼鏡を使用している ・読書をよくする
- ・暗い部屋でテレビや携帯画面を見ている

温湿布・冷湿布などを取り入れた眼精疲労治療をおこなっています。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:00～18:00	○	○	○	／	○	○

※土曜日の午後は13:30～17:30です。

※午後～予約可

休診日 木曜午後・日曜・祝祭日

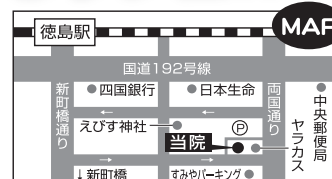
入院設備有、急患随時受付

企業検診や、各種手術（白内障、緑内障、糖尿病性網膜症、黄斑症、網膜剥離など）もおこなっております。



医療法人 山田眼科醫院

☎088-652-4843(代)
<http://www.eye-yamada.com>



徳島市中通町2(えびす神社近く)

教育次長室より



教育次長 尾崎 好秋

新しく教育次長になった尾崎です。よろしくお願いします。

平成元年度 12,957。平成24年度 7,202。平成38年度 5,791。これ

は、本県の中学3年生の生徒数の推移です。小中学校では休校や統合が続き、高等学校においても、本年度の再編統合により「鳴門渦潮高校」、「吉野川高校」、「小松島西高校勝浦校」が新しくスタートしました。学校が閉じられるということは、ほんとうに寂しいことであり地域社会にも大きな影響を及ぼしますが、将来の社会を支える子どもたちがしっかりと学び、力を伸ばすことのできる教育環境を整備することは必要です。

現在、社会は大きな変革期にあり、少子高齢化をはじめ、グローバル化に伴う国際競争の激化、デジタル化・ネットワーク化等の情報通信技術の発達など、変化の激しい時代が到来しています。

このような時代を歩んでいく子どもたちには、豊かな発想と柔軟な姿勢で、自ら考え主体的に判断することによって、激動する社会をたくましく生きてほしいと思います。また、異なる文化を理解したり他者との共存を心がけ、広い視野で行動してほしいとも思います。

子どもたちにこのような力を育むためにも、教職員一人一人への期待は極めて大きく、「教職に対する責任感や探究力」、「専門職としての知識・技能」、「コミュニケーション力や地域社会と連携・協働できる力」など幅広く総合的な資質能力が求められています。

吉田松陰は、松下村塾で高杉晋作、桂小五郎、伊藤博文らに対し、「未だ見たことのない自分を目指しなさい。」と言ったそうです。「未見の我」を信じ、「未見の我」を発見し、「未見の我」と出会う。未だ見ぬ自分に出会えたときに、人は感動し、成長することができるそうです。

教職生活の全体を通じて、自分らしく「学び続ける」とともに、年齢に関わらずいつまでも「未見の我を発見せよ。」と心がけていたいものだと思っています。

徳島県立埋蔵文化財 総合センターからのお知らせ

埋蔵文化財センターでは、県内の遺跡の発掘調査や研究のほか、出土した遺物を活用した活動を行っています。その中で、学校、児童・生徒、教員を対象に以下の活動を行っています。



内町小学校6年生のみなさん(5/2)

遠足などでのご利用

常設展示と企画展

常設展示では、各時代ごとに県内の遺跡から出土した遺物や銅鐸・木簡など重要な出土品もご覧いただけます。企画展では、新しく発掘された出土品等を展示しています。どちらも、埋蔵文化財センター職員が解説しながら、ご案内できます。

古代体験

勾玉作り・火起こし・古代の衣装着用・さわれる出土品等の体験を行うことができます。

出張授業

県内の遺跡から出土した本物の石器や土器・勾玉等を使った授業を行います。また、勾玉作りなどの古代体験も組み入れることができます。授業は埋蔵文化財センター職員が全て行います。

各種イベントのご案内

2012発掘とくしま「ムラの発展ー弥生時代から古墳時代へー」

平成24年6月12日～7月22日
平成23年度の発掘調査成果を展示・報告します。

夏休みおもしろ古代体験

対象：小4～高校生
ガラス玉・木簡・勾玉・銅鐸・銅鏡等製作
7/31・8/8・9・14・15・22・23・24

勾玉作り(材料費は100円です。)

毎週木曜日・日曜日(月1回)

お申し込みは <http://www.tokushima-maibun.net>
または 088-672-4545 普及係へ。
たくさんのお申し込みをお待ちしています。

広告



医療法人 尽心会
亀井病院

〒770-8070 徳島市八万町寺山231
TEL.088-668-1177
<http://www.kameihospital.com/>

病気の不安を私たちが預かります

当院では、安心して診療を受けて頂けるよう
十分な診察時間の確保に努めております

※診察時間：平均約15分 事前要予約

泌尿器科 麻酔科

緩和ケア 医療相談 血液透析

- 麻酔科標榜医 院長 神山有史
- 日本泌尿器科学会専門医教育関連施設
- 日本透析医学会教育施設

